最優秀賞

多摩グリーン賞【経営部門】

株式会社 日本フードエコロジーセンター

食品廃棄物のリキッド飼料化と当該飼料を利用した畜産物のブランド化による「ループリサイクル」の構築

現在、日本国内における年間の食品廃棄量は約2,800万トンに上るとされています。日本フードエコロジーセンター（J.FEC）は廃棄される食品を飼料化し、そこから生まれる畜産物をブランド展開する「ループリサイクル」というビジネスモデルによって、食品廃棄物の削減と持続可能な社会の構築に取り組んでいます。

弊社はおよそ190ヵ所の事業所から約35t ／日の食品残さを受け入れており、これを原料とした独自の飼料化技術によって、安定した品質と高い保存性を有する豚用の液状飼料（リキッド・エコフィード）を製造しています。一般的な飼料に比べ、製造工程で生じるCO_2が約4分の1に、飼料費のコストも約半分に抑えられるとされ、平成29年度は約11,600tの食品残さを飼料化すると同時に約14,200tの飼料を製造・供給し、飼料自給率の向上と養豚事業者のコスト削減に貢献しました。さらに養豚事業者・小売業者等との提携により弊社飼料で育った豚肉が『優とん』・『旨香豚』というブランドで販売されるなど、ブランド化による畜産物の販路形成に注力することで消費者を含む各ステークホルダーを巻き込んだ循環の輪=「ループリサイクル」を確立することができました。こうした取組みは国内外で高く評価され、毎年多くの視察・見学を受け入れています。

J.FECは今後も「食品ロスに、新たな価値を」を合言葉に、食品リサイクルを通した持続可能な社会の構築に取り組んで参ります。

販売されている豚肉

工場の様子

会 社 概 要

代表取締役	髙橋　巧一		
本社所在地	〒252-0245　神奈川県相模原市中央区田名塩田1-17-13		
業務内容	食品リサイクル事業（廃棄物処分業、飼料製造業、その他）		
資本金	1,000万円	沿革	創業　平成25年
主な販売・受注先	小田急グループ、東急グループ、セブン&アイグループ、ニッスイグループ、（株）エコス、（株）明治、タカナシ乳業（株）、ダノンジャパン（株）、モランボン（株）、（株）高島屋 など。また飼料販売先として、契約養豚事業者		
従業員数	正社員：10名（パート・アルバイト：19名）　平均年齢：32歳		

連 絡 先

担当者	総務部 次長　高原　淳		
URL	http://www.japan-fec.co.jp		
E-mail	jun.takahara@japan-fec.co.jp		
TEL	042-777-6316	FAX	042-777-6317